

関西電力「はびeみる電」会員向け商品

所得ゼロに備える保険プラン販売開始

Tokio Marine X少短

Tokio Marine X少短は1月31日、関西電力(2024年9月2日から保険代理業スタート)と提携し、「所得ゼロに備える保険プラン」の販売を開始した。突然の病気やけがで働けなくなった場合に備えられる保険で、関西電力「はびeみる電」(注1)会員が、専用ウェブサイトで「かんでん暮らしモール」(注2)から24時間いつでも申し込める。同商品の正式名称は「総合生活支援保険(非自発的失業時所得補償特約・就業不能補償特約)」で、ウェブで完結する。Tokio Marine X少短は、同商品発売を機に申込フォームのUIUXの大幅改善も実施した。

の特約の組み合わせの一つ。突然の病気やけが、リストラなどによる失業によって働けなくなった場合でも、電気・ガスをはじめとした水道光熱費等の利用とそれに伴う支出は継続するため、そうした場合でも、安心して生活を続けられるようサ

は、病気やケガによる就業不能時に保険金を支払うベーシックプラン(2プラン)と、会社の倒産やリストラによる失業期間にも対応するプレミアムプラン(1プラン)の計3種類。プレミアムプランでは、失業期間に応じて最大で年収の7割まで補償する(保険金の限度額は年間300万円)。支払いは、クレジット

となり、免責日数を超えた場合(所定の待機期間を超えた場合)に保険金を支払う。関西電力は20年10月以降、「かんでん保険」という名称で、がん、医療、傷害、介護、自転車等の各保険を「はびeみる電」会員向けの団体保険として組成し、グループの保険代理店(関関電L&A)が販売を担ってきた。24年9月2日から、関西電力が保険代理店となり、かんでん保険の販売を担うとともに、保険商品の取り扱い品目の拡大も目指している。「所得ゼロに備える保険プラン」は、関西電力とTokio Marine X少短が初めて提携する商品だ(注4)。

また、今回の申し込みフォームのUIUX改善のポイントは、「申し込みに必要な情報入力から手続き完了までの、どの段階にあるのかが一目で分かるデザインにした」「アカウント登録しなくても保険料の見積もりが表示される」などの点。Tokio Marine X少短では、今後も「革新的」な商品開発を、東京海上グループ内だけでなく業界内で「先進的」に「スピード感」を持ってチャレンジしていきたい考えた。

申込フォームのUIUXも大幅改善

提供すること)の保険会社として、新たな販売チャネル向けの保険商品を開発・提供することを目的に設立。24年6月に、ウェブ完結の生損保一体型保険「総合生活支

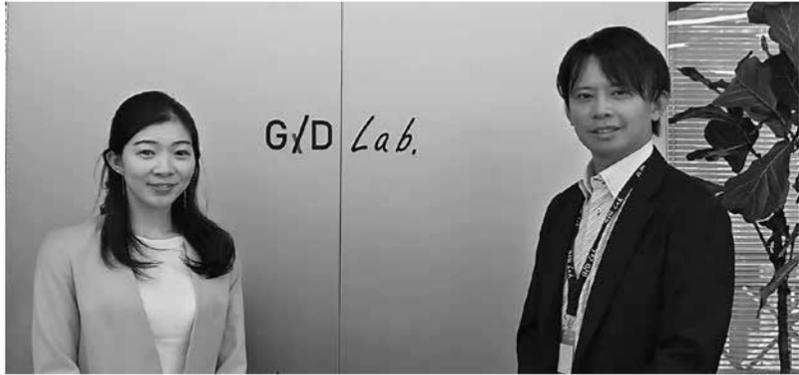
援保険」(複数の特約を脱着して補償を組み合わせる新しいタイプの保険)の販売を開始した。第一弾として同日に販売を開始したのは、カーローン返済支援保険と熱中症お見舞金保険。今回の「所得ゼロに備える保険プラン」も総合生活支援保険

ポートしたいとの考えから商品開発に至ったという。「所得ゼロに備える保険プラン」は、月額保険料500円から(注3)加入できる。販売プラン

ムプラン(1プラン)のシックAプラン(就業不能・日額1万円×最大30日補償)③ベーシックBプラン(就業不能・日額3800円×最大30日補償)④ベーシックCプラン(就業不能・日額3800円×最大30日補償)①。全プランに共通する補

の免責日数を超えた場合に保険金を支払う。プレミアムプランのみの特約「非自発的失業時所得補償特約」は、勤務先の倒産や解雇等の理由により非自発的な失業状態

に加入の場合。(注4)関西電力は、今回販売する商品のほか、自動車、ペット、旅行、レジャー関連の保険などの販売も検討している。



総合生活支援保険の開発者であるビジネスデザイン部の横倉秀一氏(右)と「所得ゼロに備える保険プラン」の開発担当者(関西電力の窓口となる営業担当者)であるビジネスデザイン部の長谷川千紘氏



UIUX改善の内容が分かる見積り画面イメージ